

差別事例集

障害種別	業種	事例
肢体障害	飲食店	レストランで車いす席が決められていて、ほかに空いている席があったのに、そこを選ばせてもらえなかった。
		食事の時間帯に混み合うお店。混み合う時間より前に行って、ほとんどお客さんがいなかったのに、「他のお客さんの迷惑になる」と断られた。
		レストランに介助者同伴で行き障害者の分だけ食事を注文をしたところ、ワンオーダー制なので介助者も注文しないといけなかったと言われた。「介助者は仕事として来ているので一緒には食べない」と言ったが、聞き入れてもらえなかった。
	交通機関	飛行機で機内食をきざむのにハサミが必要だった。機内には自分のハサミを持ち込めなかったので、「ハサミを貸してほしい」と言ったが貸してもらえず、結局、ごはんを食べられなかった。
		新幹線のチケットを発券機で買えるようになったが、結局、駅員に言わないと予約もできない。予約が取れたあとも、発券機のところで通話しながら購入するために何十分も待たされた。しかも、駅員のいない駅では買えない。
		降車駅と連絡が取れないという理由でよく待たされる。さらに、「エレベーターの乗り降りに時間がかかるのでホームで待っておく」と言ったら、改札横で待つように言われて何十分も待たされた。
	娯楽施設	美術館で展示されているものがショーケースに入っていて、車いすの目線からは見えない
		映画館で、一番前の車いす席では見づらいので一番後ろの通路で見たいと言ったが、「通路では見ていただけない」と断られた。
		劇場の車いす席が、舞台がみえにくい位置に設置されていた。そのため、場面によってときどき電動車いすを動かして、なんとか見える位置を確保していた。微調整が常に必要な状態だったので電動車いすの電源を切らずにいたら、光が漏れるので消すように言われた。
病院	検査のために採尿するときに車いす用トイレにベッドが無かったので、検査用のベッドを貸してほしいと言ったが、貸してもらえず、他の工夫もしてくれなかった。	
視覚障害	資料 パンフレット	国や自治体のサイトでも、障害福祉以外の部門の資料はpdfのみしか提供されておらず、読むことができない。音声読み上げ対応のpdf.でも誤変換が多いので、テキストデータでの提供が必要。障害者は障害福祉の枠だけで生きているのではない。
	銀行 販売店	様々な場面で、未だに自著を求められることがある。担当者への研修が不十分。

障害種別	業種	事例
視覚障害	銀行	銀行のATMで銀行員にサポートしてもらったが、暗証番号を指を使って周囲に聞こえないように伝えたが、大声で復唱された。障害者のプライバシーは考慮されていない感じがした。
	交通機関	乗車駅で、電車を降りてからの誘導を依頼すると、降車駅に連絡が取れるまで電車に乗せてもらえない。「電車を降りるのは自分で降りられる。降りてから駅員が来るまで待っておく」と伝えても、「規則なので」と取り合ってくれない。性別や年代、服装まで、事細かく降車駅の駅員に伝えられることも嫌だと伝えても、「間違えるといけないから」と言われる。障害者は信用されていない感じがする。
聴覚障害	飲食店	聴覚障害者団体が居酒屋に予約したら、何かあったら責任もてないからといってお店から断られた。
	娯楽施設	遊園地やプールで、聞こえないために何かあると責任をもてないという理由で利用を断られた。
	病院	専門医に筆談してほしいとお願いしたのに無視された。
精神障害	病院	自分の障害や症状についてセカンドオピニオンを受けたいと思い、いつも通院している病院とは違うクリニックに行った。最初は受けつけてくれたが、「〇〇病院に行っているがセカンドオピニオンを受けたい」と言ったらそのクリニックの医師が、「それは自分の先輩だ、黙っていてあげるから帰りなさい、お金もいらないから」と追い返された。
		医療保護入院になる際、家にいたら突然病院へ連れて行く移送業者が現れて、屈強な男数名で取り押さえられて連れて行かれた。なんの説明もなく、暴力的でとてつもない恐怖を感じ、もがいてしまった。人としての尊厳を踏み躪られ、トラウマになった。
		医療保護入院の際、保護室に入れられ鎮静剤をお尻に打たれたが、そのままの格好にさせられたまま、何時間も放っておかれた。(女性)
	精神科病院に入院中、検査や着替え、風呂の時、男女の職員がたくさんいる中で服を脱がされ全部見られた。(女性)	
	薬局	精神科の薬を処方されて薬局に行き待っていると、いろんな病院から処方箋を持ってきた人がいっぱいいる薬局で、カウンター越しに私の名前を大きく呼んで、症状に変わりはないか、クリスの名前や薬の説明を大きな声で言った。
処方箋薬局で薬をもらう際に、症状はどうか、イライラはおさまっているか、などとカウンターで聞かれた。「医者に詳しく話しているのに、なぜまた話さないといけないのか」発達障害のため意図が分からず、家族のこと、夫婦生活のことなどいろいろ話してしまったら、薬剤師に笑われた。精神科クリニックはプライバシーを守るために個室になっていて、信頼関係を築いて話をする。軽率に笑ったりもしない。処方箋薬局での薬の渡し方、患者のプライバシー保護、接し方を研修してほしい。		

障害種別	業種	事例
精神障害	雇用	就職先で統合失調症がバレて、5000円を渡されてクビになった。
	放送	テレビや動画配信チャンネルなどのバラエティー番組、ドラマ、映画など、いたるところで精神障害者を狂った人、気が触れてダメになった人と描かれる。それを見るたびに、自分の障害が嫌になる。また世間に出たくなくなる。
		連続殺人事件などがあると、精神鑑定や責任能力がないという報道がされ、精神障害者の犯罪が怖い、許せない、被害者が可哀想という同情が起こり、精神障害者全てに対するヘイトが起こる。報道や番組の作り方に問題がある。特にワイドショーなどのコメンテーターの精神障害に対する知識のなさが目立ち、差別を助長しているのに、その意識がない。報道の仕方として、精神障害者の犯罪率の低さや、こう言った報道でどれだけの精神障害者が精神的苦痛を受けているかをもっと強調して知らせてほしい。
	交通機関	電車が遅延すると、いつ着くかわからず不安が襲ってくる。駅員に聞いても話も丁寧に対応してもらえず、同じことをいうばかりで教えてくれない。掲示板も「遅れている」という表示はあってもなかなか更新されない。
パニック発作などがあって公的な移動介助をつけているが、2人分の切符代を払わなければならない。障害のためサポートをつけているのに、電車賃の合理的配慮を受けられないのか。健常者は一人分で電車に乗れるのに、障害ゆえ移動介助をつけて外出するとなぜ二人分を払わせられるのか。		
知的障害	販売店	ショッピングモールへ一人で行ったとき、どこが電車側の出口なのかわかりやすい表示がなくて、パニックになった。
		スーパーやお店で、店員さんが商品の使い方やラッピングの方法を説明するとき、早口でわかりにくい。
		お店で売っている商品を、こだわり行動のためにきれいに並べていたら、万引きと勘違いされた。
		買い物に行ったとき、障害者が説明をしているのに、店員さんが介助者にばかり話しかけてくる。
	交通機関	障害者が電車に乗るときのICカードの申し込み書類が難しい。
		障害がないと思われて、バスで普通料金を支払わされた。
	娯楽施設	プラネタリウムで、いつもは大声を出して楽しめていたが、運営者が変わったとたん、「他のお客さんの迷惑になるのでご遠慮ください」と言われた。「以前はそれでも大丈夫だった」と説明したが、聞き入れてもらえず出て行かされた。
	病院	「どうせわからない」からと言って本人が知るべきことを説明してもらえなかったり、知的障害者が簡単な言葉で話すので、大事なことを話しても、しょうもない意見として扱われる。
健康診断の時、大人なのに子どもに話すように話しかけられたり、ため口で話される。		

障害種別	業種	事例
知的障害	通所施設 グループ ホーム	施設の職員から「なんでわからへんのや！」と怒鳴られた。
		トイレで失敗したことを、自分で母親に説明できるのに、施設の職員が母親に電話で知らせたのが嫌だった。また、着替えを持って来ることを自分で伝えられるのに、本人に断りなく母親に伝えた。
		失敗をしたら職員がバカにする。失敗しないためにどうしたら良いのかわかるような説明をしてくれない。
		自分でお金を管理できるのに、職員が勝手にお金を管理して、必要なお金をもたせてくれない。
	介護 事業所	職員が「〇歳児レベル」という表現で知的障害の程度を表す。
		以前は食べ物にこだわりがあったが今はなくなった。レストランで、介助者が、以前のままだと決めつけて、本人の希望を聞かずに勝手にオムライスを注文した。
	行政機関	役所から障害者に送られてくる書類が全部難しい。
		普段は介助を使わない人でも環境が変わったら必要なのに介助の時間数を認めてもらえない。